

4 / 17 (月) の発表

報道発表資料の配付日時 4月17日(月) 10時00分

発表項目 (行事名)	赤れんが庁舎改修事業 仮設見学施設で発生した火災の調査結果について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）改修事業の仮設見学施設で昨年10月に発生した火災について、札幌市消防局による火災調査書の交付、及び道警・札幌中央署による捜査状況の口頭説明がありました。</p> <p>出火原因につきましては不明でしたが、調査結果の概要並びに再発防止の取組状況及び仮設見学施設の公開について別添のとおり報告します。</p> <p>なお、仮設見学施設の公開に係る取材対応等については、改めてお知らせします。</p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	建設部建築局建築整備課 (担当者:菅原) TEL ダイヤルイン 011-204-5102 内線 29-881
-------------	--

赤れんが庁舎改修事業 仮設見学施設で発生した火災の調査結果等について

建設部建築局建築整備課
総務部行政局財産課

北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)改修事業の仮設見学施設で発生した火災について、札幌市消防局による火災調査書の交付、及び道警・札幌中央署による捜査状況の口頭説明があったので、その概要並びに再発防止の取組状況及び仮設見学施設の公開について報告する。

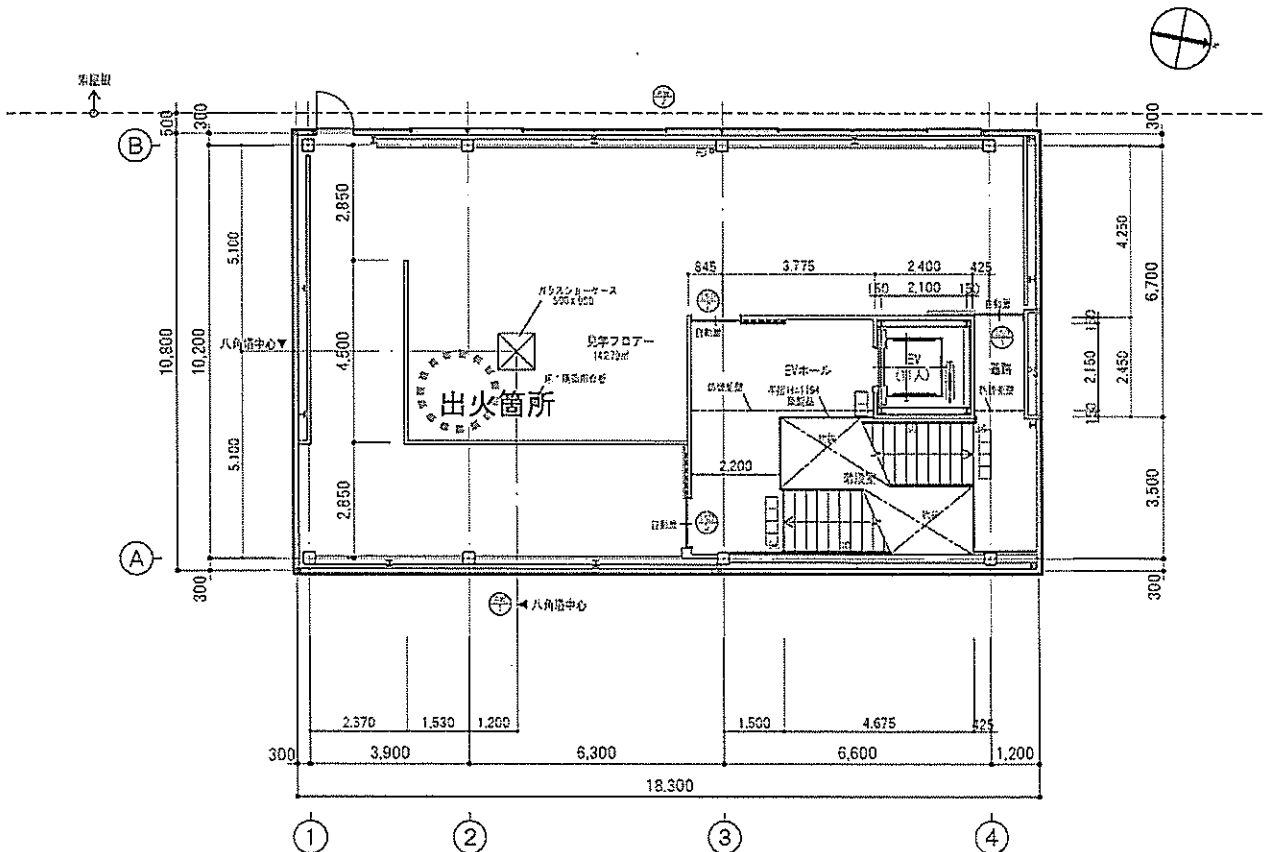
1 火災の概要

- (1)発生日時 令和4年(2022年)10月3日(月)未明
- (2)被害状況 鉄骨造3階建ての3階約190㎡のうち、約150㎡が焼損
- (3)実況見分 10月3日午前10時から札幌市消防局及び道警・札幌中央署により実施

2 調査結果の概要

(1)札幌市消防局

- 1)出火箇所は、天井、各壁面及び八角塔のポールの焼損状況から、3階中央部の南壁面東側と判定する。(次図参照)



3階平面図

図 判定された出火箇所

2)出火原因は、次のア及びイのとおり放火及び電気関係が考えられるが、いずれも確たる物証が得られず、特定に至らないことから不明とする。

ア 放火については、何者かが侵入し、何らかの火源を用いて火を放つことにより火災化する可能性

イ 電気関係については、電気配線から出火した可能性は考え難く、南壁際の東側モニター直下床上の残焼物内にホロビルダー用ノートパソコンもしくはルーターのものと考えられる基板が一部焼失しており、基板の残存部分から出火に至る痕跡は認められないものの、基板上でのトラッキング現象、半田付け不良による発熱等により、基板の焼失部分から出火した可能性

(2)道警・札幌中央警察署(口頭)

- ・出火原因については、電気系統からの出火の可能性が考えられるが、現時点では不明である。
- ・放火については、現場の状況などから可能性は極めて低いと考えられる。

3 再発防止の取組等について

(1)再発防止の取組等

出火原因は不明であるが、道が令和4年11月に定めた再発防止のための取組や安全対策を踏まえ、受注者は次の取組を実施しているところ。

- 工事中配線やバッテリー搭載工具類、採暖機器の取扱ルールの徹底
 - 火気使用作業のルールの見直し(対策強化)と徹底、対象作業の拡充
 - 仮囲いの施錠管理、作業員の入退場管理の徹底、AIカメラの設置や警備員による休日・夜間を含む24時間警備を実施
 - 火災等の通報・連絡・初期消火などの初動対応のルールの徹底
 - 札幌市消防局の協力を得て、初動対応の定期的な訓練を実施
- など

(2)仮設見学施設の設計見直しと復旧について

仮設見学施設については、同じく道が定めた再発防止のための取組や安全対策を踏まえ、次のように設計を見直し、復旧工事を進めているところ。

- コンセントのトラッキング対策や燃えにくい仕上げ材の採用など
- 高齢者や子どもも使いやすい手すりの設置、出入口・スロープの融雪対策など

また、展示用機器や電源の管理の徹底、警備員による夜間・休日の巡回警備の実施などにより、火災を予防するとともに、事故などの発生時の連絡や見学客の避難誘導などについて、警備・受付担当者の訓練を定期的に行うなど、安全対策を徹底する。

4 仮設見学施設の公開について

仮設見学施設については、令和5年5月6日(土)にプレオープンし、5月7日(日)から終日で一般公開する方向で調整を行っているところ。